

『市町村・インフラ系企業防災関連担当者研修会～3.11からの学び塾～』を開催しました (2016/12/20)

テーマ：市町村職員、人材育成、研修、国土交通省東北地方整備局、防災教育国際協働センター
 場所：災害科学国際研究所 2階演習室

2016年12月19日（月）～20日（火）、東北大学災害科学国際研究所と国土交通省東北地方整備局の共同主催、宮城県と仙台市の後援により、災害科学国際研究所2階演習室にて「市町村・インフラ系企業防災関連担当者研修会～3.11からの学び塾～」を開催しました。防災教育国際協働センターが事務局を担いました。危機管理や防災・復興に関わる宮城県内の市町村・インフラ系企業防災関連担当者が、19日に21名、20日に23名参加しました。

本研修は、東日本大震災発生当時の緊急対応の最前線における実体験を中心に、震災対応の教訓を改めて学び直すとともに、宮城県内の市町村の災害危機管理、インフラ・ライフライン系企業などに必要な活動遂行能力の向上を図ることを目的としました。また、本研修は東京大学地震研究所と京都大学防災研究所との連携に基づいた平成28年度拠点間連携共同研究「東日本大震災の実経験からの学びを活かした人材育成プログラムの開発と実践」の一環として位置づけ運営がなされました。

研修プログラムは次ページの通りであり、最終日には受講者を代表して南三陸町復興市街地整備課の伊勢直彦さんに奥村副研究所長から受講修了証が手渡され、閉会となりました。受講者からのアンケート結果により、「震災を客観視することはなかなか難しく、こういった機会がなければ、改めて意識しないことも多く、振り返りや共有の必要性を改めて感じた」といったコメントや、88%の受講者から同僚への受講を奨励したいとの回答を得ました。災害科学国際研究所では、東日本大震災の被災地域の課題を踏まえ、地域の特色や資源を活用した防災人材育成に引き続き取り組んでいきます。



川瀧弘之東北地方整備局長と今村文彦所長あいさつ



研修会会場（講義風景）



グループ演習



演習成果の発表



修了証の授与

研修プログラム

■1日目（12月19日（月））

10:00～10:20	開会行事、オリエンテーション	事務局（IRIDeS）
	開会あいさつ	川瀧弘之（国土交通省東北地方整備局） 今村文彦（IRIDeS）
10:30～12:00	【特別講演 90分】 東北地方太平洋沖地震・津波の発生メカニズムと東日本大震災	今村文彦（IRIDeS）
12:00～13:00	昼休み	
13:00～14:30	緊急対応①【講義 60分】 公共施設管理・災害時の対応（3.11～近年の災害）	梅森雄一（国土交通省東北地方整備局）
	緊急対応①【ワークショップ 30分】 学びの目的を確認しよう・隣の参加者を知ろう	奥村 誠（IRIDeS）
14:40～16:25	緊急対応②【講義 60分】 保健・医療・福祉	伊藤哲也（宮城県総務部）
	緊急対応②【演習 45分】 机上シミュレーション大規模事故（災害）時の初動	佐々木宏之（IRIDeS）
16:40～18:10	緊急対応③【講義 60分】 教育・学校・避難所	猪股亮文（仙台市教育局）
	緊急対応③【演習 30分】 学校避難所から情報伝達演習	佐藤 健、桜井愛子（IRIDeS）、小田隆史（宮城教育大）

■2日目（12月20日（火））

8:40～9:40	予防①【講義 60分】 地域防災計画・災害ロジスティクス	奥村 誠（IRIDeS）
9:50～10:50	予防②【講義 60分】 災害法制・業務継続計画	丸谷浩明（IRIDeS）
11:00～12:00	災害対策本部設置演習 60分	丸谷浩明・佐藤 健・安倍祥（IRIDeS）
12:00～13:00	昼休み	
13:00～14:00	復旧復興①【講義 60分】 仮設住宅・サポートセンター・復興住宅	小野田泰明（IRIDeS 兼務）
14:10～15:10	復旧復興②【講義 60分】 東日本大震災からの復興まちづくりについて	鈴木武彦（国土交通省東北地方整備局）
15:20～16:20	復旧復興総合演習 60分	岩田 司・平野勝也（IRIDeS）
16:20～16:50	研修振り返り、閉会行事、アンケート実施	事務局（IRIDeS）